

# 2019年度 事業報告書[法人第7期]

(2019年10月1日～2020年9月30日)

## 1. 庶務報告

### i) 会員数 (2020年9月30日現在)

正会員 1,681 / 名誉会員 15 / 功労会員 38 / 賛助会員 13 (合計 1,747)

### ii) 会議開催実績

#### 2019年度 定例理事会

第1回 2019年12月1日 (メルパルク京都 7階「スタジオ2」)

第2回 2020年5月28日 (株式会社国際文献社 4階「会議室」※ZoomによるWeb会議)

第3回 2020年9月18日 (AP品川アネックス 1階「A+Bルーム」※Zoomによる出席者有)

#### 第6回 定時社員総会・表彰式

2019年12月1日 (メルパルク京都 5階「会議室A+B」)

#### 保険委員会、倫理委員会、利益相反委員会、ガイドライン委員会、学会誌編集委員会、梅毒委員会

2019年11月29日 (京都ホテルオークラ 5階「鶴」)

#### 教育啓発委員会

2019年11月30日 (メルパルク京都 6階「会議室5」)

#### 第33回学術大会プログラム委員会

2019年12月1日 (メルパルク京都 6階「会議室5」)

#### 認定制度委員会

2020年7月24日 (AP品川アネックス 1階「Dルーム」)

## 2. 年次学術大会

### 日本性感染症学会 第32回学術大会

会 期：2019年11月30日(土)～12月1日(日)

会 場：メルパルク京都

会 長：岩破 一博 (京都府立医科大学医学部看護学科 医学講座産婦人科学 教授)

参加人数：1,036名 (医師666、医師以外270、学生59、招待41)

プログラム：特別講演1企画、理事長講演1企画、教育講演1企画、シンポジウム6企画(内3企画が卒後・生涯学習プログラム対象)、日本性感染症学会関西支部主催 京滋奈和性感染症研究会併催セミナー1企画、スポンサードシンポジウム1企画、スポンサードセミナー1企画、認定士への集い1企画、日本エイズ学会とのジョイントシンポジウム1企画、性感染症に関する特定感染症予防指針に基づく対策の推進に関する研究班(三鴨班)の報告1企画、一般演題105題、ランチョンセミナー8企画、イブニングセミナー3企画

閉会后開催：第321回ICD講習会

## 3. 学会誌「日本性感染症学会誌」発行

第30巻第2号：2019年10月発行 (第32回学術大会 抄録号：第32回会長担当)

第31巻第1号：オンラインファーストで順次HPへ掲載。

全原稿掲載完了予定は2020年12月予定 (通常号：学会誌編集委員会担当)

## 4. 各委員会活動

### 1) 学会誌編集委員会 (安田 満 委員長)

委員会の開催 (2019年11月29日：京都ホテルオークラ 5階「鶴」)

日本性感染症学会誌 第31巻第1号発刊作業(電子版のみ)

### 2) ガイドライン委員会 (高橋 聡 委員長)

委員会の開催 (2019年11月29日：京都ホテルオークラ 5階「鶴」)

「性感染症 診断・治療ガイドライン 2020」の発刊に向けて編集作業

### 3) 利益相反委員会 (笹川 寿之 委員長)

委員会の開催 (2019年11月29日：京都ホテルオークラ 5階「鶴」)

「利益相反に関する指針」および「COI自己申告書」の改定

改定日：2020年9月18日、施行日：2020年12月7日

- 4) 倫理委員会 (重村 克巳 委員長)  
委員会の開催 (2019年11月29日: 京都ホテルオークラ 5階「鶴」)  
「医療倫理」の講習会開催の準備(第33回学術大会にて開催予定)
- 5) 学術奨励賞選考委員会 (渡辺 大輔 委員長)  
日本性感染症学会誌第31巻第1号に掲載論文の中から2019年度学術奨励賞受賞者を以下2名とし、2020年12月5日 第7回定時社員総会の表彰式において賞状楯および副賞(15万円×2名)の目録を授与予定。  
なお、副賞総額30万円のうち10万円は公益社団法人 性の健康医学財団より寄附。  
・山田 薫 (金沢医科大学 産科婦人科)  
「子宮頸部腫の乳頭腫(コンジローマ)の原因となるHPV型の同定」  
・加藤 佑樹 (金沢大学大学院医学系研究科集学的治療分野 泌尿器科)  
「日本人男性不妊患者の尿および精液検体からのHPV, Mycoplasma, Ureaplasma 検出についての検討」
- 6) 認定制度委員会 (余田 敬子 委員長)  
委員会の開催 (2020年7月24日 AP品川アネックス 1階「Dルーム」)  
認定試験の実施 (2020年7月24日 AP品川アネックス 1階「A+Bルーム」)  
2019年度認定医試験・認定士試験および更新申請書類審査結果  

<b>新規</b>	認定医試験 受験者 8名 / 認定士試験 受験者 5名 (受験者全員合格)
	[認定医] / [認定士]
<b>更新</b>	資格更新対象者————— 95名 / 6名
	更新申請書類 提出—— 78名 / 4名 (全員更新承認)
	更新延期願 提出—— 2名 / 0名 (全員更新延期承認)
	更新辞退————— 1名 / 0名
	資格喪失(未提出により)—— 14名 / 2名

  
次年度の試験に向けた新しい試験問題の作成  
試験要領の変更  
認定士試験の配点変更の検討  
Web配信による研修会単位付与についての検討  
認定資格更新申請書類の変更  
認定制度規則の改定
- 7) 梅毒委員会 (斎藤 万寿吉 委員長)  
委員会の開催 (2019年11月29日: 京都ホテルオークラ 5階「鶴」)  
学会における梅毒関連業務の対応  
「梅毒診療に関する提言書」を学会HPへ掲載 (2019年12月17日)
- 8) 教育啓発委員会 (野々山 未希子 委員長)  
委員会の開催 (2019年11月30日: メルパルク京都 6階「会議室5」)  
「厚生労働科学研究費補助金学会 三鴨班」の活動報告の準備(第33回学術大会にて発表予定)
- 9) 国際渉外委員会 (濱砂 良一 委員長)  
IUSTI World Congress 2020へ参加予定(2020年12月タイ[バンコク]にて開催予定→2021年12月開催へ延期)  
関連国際学会との連携対応
- 10) 会則検討委員会 (高橋 聡 委員長)  
各規則の内容の精査および改定案の検討
- 11) 広報・ホームページ委員会 (大西 真 委員長)  
バナー広告申込書の審査および審査とのバナー掲載 (1社: 積水メディカル株式会社 継続掲載)  
広報およびホームページ関連業務の対応
- 12) 支部の在り方検討委員会 (安田 満 委員長)  
支部運営の状況把握と見直しの検討
- 13) Stop!梅毒プロジェクト委員会 (四柳 宏 委員長)  
「FUSEGU2020プロジェクト」への参加
- 14) 保険委員会 (高橋 聡 委員長)  
委員会の開催 (2019年11月29日: 京都ホテルオークラ 5階「鶴」)  
一般社団法人 内科系学会社会保険連合(内保連)への加盟申請に向けた委員会の開催

## 5. 関連学術団体との連絡・協力

- 1) 日本性科学連合[JFS]  
2019年10月5日 第20回性科学セミナー(鹿児島市医師会館)での本学会を代表者として齋藤益子 代議員が講演
- 2) 健やか親子21推進協議会  
厚生労働省HPへ活動報告の掲載
- 3) ICD制度協議会  
学会HPにICD制度協議会HPへリンクのバナーを掲載  
2019年度 ICD申請者8名(2019年10月末日提出締切)  
2020年度も10月末日提出締切とし、3名分の申請書類を受付  
2019年12月1日 第321回ICD講習会(第32回学術大会終了後 同会場にて開催)
- 4) 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会  
2020年3月27日開催予定の2019年度総会が新型コロナウイルスの影響により中止
- 5) 日本思春期学会  
日本思春期学会との連携対応  
2020年9月17日～23日 第39回日本思春期学会 総会・学術集会(会長:笹川 寿之) Web開催
- 6) 日本エイズ学会  
合同シンポジウムの開催(日本性感染症学会 第33回学術大会[メルパルク京都]にて)  
日 時:2019年12月1日8:50-10:20  
テ ー マ:HIV感染予防の最近の話題 -PrEP, U=Uなどの話題とともに-  
司 会:喜多 恒和(奈良県総合医療センター 兼 奈良県西和医療センター 産婦人科)  
中山 英美(大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野)  
演 者:立川 夏夫(横浜市立市民病院 感染症内科)  
水島 大輔(国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター)  
杉浦 敦(奈良県総合医療センター 産婦人科)  
山田 里佳(JA愛知厚生連海南病院 産婦人科)  
  
※2020年は第34回日本エイズ学会学術集会・総会において合同シンポジウムを開催予定  
※日本性感染症学会 学術大会において合同シンポジウムの次回の開催予定は2021年の第34回(金沢)にて開催予定
- 7) 予防接種推進専門協議会  
代表者会議および全体会議への出席

## 6. 各支部の活動

北海道支部、関東甲信越支部以外の6支部において、支部総会を開催。  
各支部の事務局情報は学会ホームページ参照。

## 7. その他

- 1) 日本医学会  
2020年7月22日 加盟申請書類提出。(審査の結果は2021年2月開催の日本医学会 定例評議員会において判明予定)